

エクセル相対参照と絶対参照

エクセルを使い始めて必ず当たる壁がセル参照の「相対参照と絶対参照」といっても過言ではありません。実際に表で計算する場合は数値を入力するよりも、セル参照で指定するのが一般的です。また、セルに数式を入力する時いちいち数字を入力しては効率が悪いので、元の数式をオートフィルでコピーするのが一般的です。そこで重要となるのが「相対参照と絶対参照」です。

【相対参照】とは

	A	B	C
1	単価	数量	金額
2	50	5	=A2*B2
3	100	6	
4	150	7	

セルC 2に
「=A2*B2」と入力

セルC 2から
セルC 4に向かって
オートフィル

	A	B	C
1	単価	数量	金額
2	50	5	250
3	100	6	600
4	150	7	1050
5			

	A	B	C
1	単価	数量	金額
2	50	5	=A2*B2
3	100	6	=A3*B3
4	150	7	=A4*B4

セルC 2の数式を下にコピーするとコピー先の数式のセル参照はコピーした位置に合わせて自動的に置き換わります。

【絶対参照】とは

	A	B	C
1	消費税率		5%
2	商品名	金額	消費税額
3	商品A	10,000	=B3*C1
4	商品B	15,000	
5	商品C	20,000	

セルC 2に
「=B3*C1」と入力

セルC 3から
セルC 5に向かって
オートフィル

セル参照が
C1→C2→C3へと
変化しているので
エラーとなる

	A	B	C
1	消費税率		5%
2	商品名	金額	消費税額
3	商品A	10,000	500
4	商品B	15,000	##### エラー
5	商品C	20,000	1E+07 エラー
6			

	A	B	C
1	消費税率		5%
2	商品名	金額	消費税額
3	商品A	10,000	=B3*C1
4	商品B	15,000	=B4*C2
5	商品C	20,000	=B5*C3

セルC 3の数式を下にコピーしてもコピー先の数式のC 1は変化させたくない。
セルC 3、C 4、C 5までの数式を=B3*C1、=B4*C1、=B5*C1 としたい。
コピーしてもセル参照が変わらないために「絶対参照」を使います。

絶対参照入力の方法

	A	B	C
1	消費税率		5%
2	商品名	金額	消費税額
3	商品A	10,000	=B3*C1
4	商品B	15,000	
5	商品C	20,000	

セルC 2に
「=B3*C1」と入力する時
「C1」入力（セル参照）した
直後に **F 4** キーを押下すると
「C1」が「**\$C\$1**」に変化し
ます。これで「C1」が
絶対参照となりました。

※「F4」を押下するたびに「\$C\$1」「C\$1」「\$C1」「C1」へと変化します。

※「\$」はキーボードから直接入力してもかまいません。

	A	B	C
1	消費税率		5%
2	商品名	金額	消費税額
3	商品A	10,000	500
4	商品B	15,000	750
5	商品C	20,000	1000
6			

	A	B	C
1	消費税率		5%
2	商品名	金額	消費税額
3	商品A	10,000	=B3*\$C\$1
4	商品B	15,000	=B4*\$C\$1
5	商品C	20,000	=B5*\$C\$1
6			

セルC 3の数式を下にコピーするとコピー先の数式のセル参照はコピーした位置に合わせて自動的に置き換わりますが絶対参照の「\$C\$1」は変化しません。

絶対参照は表計算にあってはなくてはならない概念です。「相対参照」と「絶対参照」をうまく使い分けましょう。